

受付番号 1129-15

倫理審査申請書

平成 29 年 12 月 15 日 提出

山口赤十字病院院長
名西 史夫 殿

申請者 (主任研究者)
所属 麻酔科
職名 副部長
氏名 守田 季郎



所属長の印

永井郁夫

1. 課題名 当院麻酔科における術前患者評価の妥当性の検討			
2. 主任研究者	所属 麻酔科	職名 副部長	氏名 守田 季郎
3. 分担研究者	所属 麻酔科 麻酔科 麻酔科	職名 部長 部長 医師	氏名 永井 郁夫 伊藤 誠 川並 俊介
4. 医学研究等の概要 手術を受ける患者に対し、麻酔科医は全身状態の評価を行う際に、評価の指標としてアメリカ麻酔科学会（以下 ASA）による全身状態分類「フィジカルステータス」（以下 PS）を用いる。この PS は術後予後と相関するとされており、麻酔科以外の診療科で治療方針を決定する要素としているとの報告もある。 しかし、この評価は主観による影響が大きく、同一患者でも麻酔科医によって評価が異なることが以前より問題となっていた。2014 年 10 月 18 日、ASA はいくつかの状態において評価の具体例を公表した。この具体例を参照することによって麻酔科医による評価の差異が縮小したとの報告が散見されるようになっている。 2014 年当時、当院麻酔科ではこの ASA の公表について熟知しておらず、従来の評価を継続していた。現在、2014 年に我々が行った評価を ASA の公表した目安に照らしたところ、麻酔科医による差異もさることながら、大幅な過小評価となっている可能性が高いことがわかった。 本研究の目的は、2014 年の PS を ASA の具体例に沿って再評価を行うことで、過小評価となっていたかを明らかにすることである。また、年々、手術を受ける患者で深刻な合併症のある患者が増加傾向にあるという報告もあるため、2018 年より ASA の具体例に沿った形で評価を行い、当院においてもその傾向があるかどうかを検討することも目的とする。			
5. 医学研究等の対象及び実施場所 対象：2014 年 1 月 1 日～12 月 31 日までに手術を受けた患者の診療録 2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日までに手術を受けた患者の診療録 実施場所：麻酔科医局			